

第2回栗東市観光振興会議 会議概要

- 日時： 令和3年11月15日（月） 午後15時00分～午後16時30分
- 場所： 栗東市危機管理センター2階 防災研修室
- 出席： <委員>
築地達郎会長、田中由美副会長、岡山光雄委員、林優里委員、高野秀樹委員、石井一樹委員
<運営組織>
一般社団法人栗東市観光協会 山口事務局長
<事務局>
商工観光労政課青木課長、商工観光労政課事務局担当

1. 開会

（商工観光労政課長補佐）

2. あいさつ

築地会長

自己紹介

事務局より、本日の傍聴者は0名と報告された

3. 案件

審議事項

①栗東市観光認知度アンケート調査を踏まえたKPIの設定について【資料1, 2, 3】

○事務局より資料1.2の説明

委員) 資料2の主要な抜粋の⑩で情報源というところで20代についてはSNS、30代、40代については有料の旅行雑誌等ということであるが、参考までに聞いて頂きたいこととして、(一社)栗東市観光協会(以下、観光協会)のSNSのフォロワー状況と資料の調査結果と少し違いがあるので、報告させて頂く。

会長) 観光協会のSNSをフォローしている方は元から栗東に関心を持っておられる方で今回の調査の方は近畿圏、近隣県である意味ランダムで栗東に関心のない人も含めての調査を行っているということで母集団がかなり違うことになるが、結果を鵜呑みにするのは危険であるので、重要な点である。

委員) 年代、性別の分析をしている中でより詳しい分析をされているものはあるか。

事務局) 今後調査結果の報告書を市のホームページなどで公開予定である。

○資料3について事務局より説明

委員) 資料3のKPIの4について、もう少し工夫した説明の方が良いかと思う。もう一点として、今後協会として観光庁の登録DOMの要件を満たす様な設問を今後設定して頂きたい。

運営組織) 補足ですが、将来的な話で今回のアンケートについてではない。また振興ビジョンを進めた先に何を見るかといったところをもう少し盛り込んでもらえると協会としても目的意識が生まれてくる。

委員) 登録DMOについては6種類のKPIを設定することになっており、設定しなくても構わない項目もある。DMO化を検討されているのであれば一緒にKPIになるので、この様なところで一緒にやっても良いのかもしれない。

委員) 指標の目標数値が妥当かどうかについて、資料3の4番の認知度として挙げている数値があるが、次の5番の誘因力の部分で認知している数値の%なのか、回答者全体として認知はしていないけど、栗東市に行ったことがある人いるのかどうかについて、この数字の雰囲気的に4番では認知度は46.1%であるが、5番の誘因力の行ったことがあるかについての指標が53.6%となると矛盾しているのではないかと。本来であれば認知度より誘因力の方が少なくなるのではないかと。

事務局) 今頂いたご質問の中で参考資料①の4ページをご覧いただきたい。ご指摘頂きました点については質問の13ところになると思うが、委員のご指摘頂いた通り、栗東市を知っていると回答のあった方への質問となっており、枠組みが小さくなった中での数値でこれが回答者全体ということであればもっと数値は低いものとなるので、そのようにご理解いただきたい。

会長) 改めて、皆様のご意見を伺いながら確認し、4番の認知度を測るために何県にあるか知っていますかという設問が適切なのかというところは疑問であり、もう少し工夫をお願いしたい。5番の誘因力についても3年以内に来たことのある人の数を増加させる必要があると思う。6についてはこの通りかと思う。

この点についてはかなりクリエイティブな議論が必要になることから、継続審議ということにして、事務局と観光協会との間で議論頂いて、把握しやすく、他の指標との整合性があるものと考えて頂くということに

してはどうかと思うが、いかがか。→承認
では、この KPI の設定については継続審議という形にさせていただく。

委員) 市民向けのアンケートの中で新規で栗東市に來られた方の感覚を知りたいと思う。新しい人の感覚を知ることにより、新規の事業などが生まれてくるのではないかと考える。

運営組織) そのアンケートは難しいものである。新たな住民の範囲が3年や5年であれば少ないと思うが、どこまでを範囲にするかという議論もあり、場所によってはかなり古い住宅地もあるが、昔から住んでいる人でもないので、範囲設定が難しい。

運営組織) 実施するのであれば観光ではなく、六次総合計画の方で実施してもらうことになる。観光だけの話ではなくなっている。

事務局) 市政全般にどのように持っていけるかについては検討させて頂く必要がある。少なくとも観光の視点からとなると事業計画の中で指摘はしていく。しかし、なかなか最上位計画なので、アプローチが難しいものではある。

報告事項

①栗東市マーケティング計画について【資料4】

○運営組織より資料4について説明が行われた。

会長) 時期的にはいつごろになるのか。

事務局) 2月の末に完成予定で考えている。

運営組織) 観光協会の来年度事業ともかみ合わせた形で考えている。

委員) 推進体制は協会であるが、このマーケティング計画の主体はどこになるか。

事務局) 実施主体の方でマーケティング計画を作成であるので、主体は観光協会になる。

会長) この栗東市観光振興ビジョンの特徴はそこにある。

委員) 広域連携という形でデータ分析を広域で見ても良いかもしれない。

運営組織) 栗東市であれば近隣の市と広域連携協議会があり、事務局は行政が持ち回っており、統一組織がないとなかなか難しい。

4. 閉会

(田中副会長)